



SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Server のインストールのクイックスタート SnapCenter Software 4.9

NetApp
March 20, 2024

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/snapcenter-49/protect-scsql/quick-start-to-prepare-for-snapcenter-plug-in-install-for-sql-server.html> on March 20, 2024. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Server のインストールのクイックスタート	1
SnapCenter サーバとプラグインのインストールを準備します	1
SnapCenter Server for Microsoft SQL Serverをインストールします	3
SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Server をインストールします	5

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Server のインストールのクイックスタート

SnapCenter サーバとプラグインのインストールを準備します

SnapCenter ServerおよびSnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverをインストールするための準備手順をまとめたものです。

ドメインとワークグループの要件

SnapCenter サーバは、ドメインまたはワークグループ内のシステムにインストールできます。

Active Directory ドメインを使用している場合は、ローカル管理者の権限を持つドメインユーザを使用する必要があります。ドメインユーザは、Windows ホストのローカル管理者グループのメンバーである必要があります。

ワークグループを使用している場合は、ローカル管理者の権限を持つローカルアカウントを使用します。

ライセンス要件

インストールするライセンスのタイプは環境によって異なります。

使用許諾	必要に応じて
SnapCenter 標準のコントローラベース	FAS または AFF ストレージコントローラの場合は必須です SnapCenter Standard ライセンスはコントローラベースのライセンスで、Premium Bundle に含まれています。SnapManager スイートのライセンスをお持ちの場合は、SnapCenter Standard のライセンスもご利用いただけます。FAS または AFF ストレージを使用した SnapCenter の試用版をインストールする場合は、営業担当者にお問い合わせください。
SnapCenter - 容量ベース	ONTAP Select および Cloud Volumes ONTAP で必要です Cloud Volumes ONTAP または ONTAP Select を使用している場合は、SnapCenter で管理するデータに基づいて、容量ベースのライセンスを 1TB 単位で購入する必要があります。デフォルトでは、SnapCenter には 90 日間の 100TB SnapCenter の標準容量ベースの試用版ライセンスが組み込まれています。その他の詳細については、営業担当者にお問い合わせください。
SnapMirror または SnapVault	ONTAP SnapCenter でレプリケーションを有効にする場合は、SnapMirror または SnapVault のライセンスが必要です。
追加ライセンス（オプション）	を参照してください "SnapCenter ライセンス" 。

使用許諾	必要に応じて
SnapCenter 標準ライセンス (オプション)	<p>セカンダリデスティネーション</p> <p> セカンダリデスティネーションに SnapCenter Standard ライセンスを追加することを推奨しますが、必須ではありません。セカンダリデスティネーションで SnapCenter 標準ライセンスが有効になっていない場合、フェイルオーバー処理の実行後に、SnapCenter を使用してセカンダリデスティネーションのリソースをバックアップすることはできません。ただし、クローニング処理と検証処理を実行するには、セカンダリデスティネーションに FlexClone ライセンスが必要です。</p>

ホストおよびポートの要件

ONTAP およびアプリケーションプラグインの最小要件については、を参照してください "[Interoperability Matrix Tool](#) で確認してください"。

ホスト	最小要件
オペレーティングシステム (64 ビット)	を参照してください " Interoperability Matrix Tool で確認してください"
CPU	<ul style="list-style-type: none"> サーバホスト： 4 コア プラグインホスト： 1 コア
RAM	<ul style="list-style-type: none"> サーバホスト： 8GB プラグインホスト： 1GB
ハードドライブの空き容量	<p>サーバホスト：</p> <ul style="list-style-type: none"> SnapCenter サーバソフトウェアとログの場合は 4GB SnapCenter リポジトリ用に 6GB 各プラグインホスト：プラグインのインストールとログ用に 2GB。専用のホストにプラグインがインストールされている場合にのみ必要です。
サードパーティのライブラリ	<p>SnapCenter サーバホストおよびプラグインホストで必要：</p> <ul style="list-style-type: none"> Microsoft .NET Framework 4.7.2以降 Windows Management Framework (WMF) 4.0 以降 PowerShell 4.0 以降
ブラウザ	Chrome、Internet Explorer、および Microsoft Edge

ポートタイプ	デフォルトのポート
SnapCenter ポート	8146 (HTTPS) 、 URL <code>_https://server:8146_</code> のように双方向、カスタマイズ可能
SnapCenter SMCORE の通信ポート	8145 (HTTPS) 、双方向、カスタマイズ可能
リポジトリデータベース	3306 (HTTPS) 、双方向
Windows プラグインホスト	135、445 (TCP) ポート 135 および 445 に加え、Microsoft が指定したダイナミックポート範囲も開いている必要があります。リモートインストール操作では、このポート範囲を動的に検索する Windows Management Instrumentation (WMI) サービスを使用します。 サポートされているダイナミックポート範囲については、を参照してください " Windows のサービス概要とネットワークポート要件 "。
SnapCenter Plug-in for Windows の略	8145 (HTTPS) 、双方向、カスタマイズ可能
ONTAP クラスタまたは SVM の通信ポート	443 (HTTPS) 、双方向 80 (HTTP) 、双方向 このポートは、SnapCenter サーバホスト、プラグインホスト、SVM または ONTAP クラスタ間の通信に使用されます。

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Server の要件

ローカル管理者の権限を持つユーザが、リモートホストに対してローカルログインの権限を持っている必要があります。クラスタノードを管理する場合は、クラスタ内のすべてのノードに対する管理者権限を持つユーザが必要です。

SQL Server に対して sysadmin 権限を持つユーザが必要です。このプラグインは Microsoft VDI Framework を使用しますが、これには sysadmin アクセスが必要です。

SnapManager for Microsoft SQL Server を使用していて、SnapManager for Microsoft SQL Server から SnapCenter にデータをインポートする場合は、を参照してください "[アーカイブバックアップをインポートする](#)"

SnapCenter Server for Microsoft SQL Server をインストールします

SnapCenter Server for Microsoft SQL Server のインストール手順をまとめたものです。

ステップ1: SnapCenter サーバーをダウンロードしてインストールします

1. から SnapCenter Server インストールパッケージをダウンロードします "NetApp Support Site" 次に、この exe をダブルクリックします。

インストールの開始後、すべての事前確認が実行され、最小要件を満たしていない場合には、対応するエラーまたは警告メッセージが表示されます。警告メッセージは無視してインストールを続行できますが、エラーは修正しておく必要があります。

2. SnapCenter サーバのインストールに必要な設定済みの値を確認し、必要に応じて変更します。

MySQL Server リポジトリデータベースのパスワードを指定する必要はありません。SnapCenter サーバのインストール時に、パスワードは自動生成されます。



インストール用のカスタムパスでは、特殊文字“ % ”はサポートされていません。パスに「 % 」を含めると、インストールは失敗します。

3. [今すぐインストール] をクリックします。

ステップ2 : SnapCenter にログインします

1. ホストデスクトップ上のショートカットまたはインストール時に表示されたURL (SnapCenterサーバがインストールされているデフォルトポート8146の場合は `_https://server:8146_`) からSnapCenterを起動します。
2. クレデンシャルを入力します。

組み込みのドメイン管理者ユーザ名の形式には、 `NetBIOS<username>_` または `<username>@<domain>` または `<DomainFQDN>\<username>` を使用します。

組み込みのローカル管理者ユーザ名の形式には、 `<username>` を使用します。

3. [* サインイン *] をクリックします。

手順3 : SnapCenter Standard コントローラベースライセンスを追加する

1. ONTAP コマンドラインを使用してコントローラにログインし、次のように入力します。

```
system license add -license-code <license_key>
```

2. ライセンスを確認します。

```
license show
```

手順4 : SnapCenter 容量ベースライセンスを追加する

1. SnapCenter GUI の左ペインで、 **Settings > Software** をクリックし、 License セクションで **+** をクリックします。
2. ライセンスを取得するには、次の 2 つの方法のいずれかを選択します。
 - ライセンスをインポートするには、NetApp Support Siteのログインクレデンシャルを入力します。

- ネットアップライセンスファイルの場所を参照し、* Open * をクリックします。
- 3. ウィザードの通知ページで、デフォルトの容量しきい値 90% を使用します。
- 4. [完了] をクリックします。

手順5：ストレージシステム接続をセットアップする

1. 左側のペインで、* ストレージ・システム > 新規 * をクリックします。
2. Add Storage System ページで、次の手順を実行します。
 - a. ストレージシステムの名前または IP アドレスを入力します。
 - b. ストレージシステムへのアクセスに使用するクレデンシャルを入力します。
 - c. イベント管理システム（EMS）と AutoSupport を有効にするには、チェックボックスを選択します。
3. プラットフォーム、プロトコル、ポート、およびタイムアウトに割り当てられたデフォルト値を変更する場合は、[その他のオプション*] をクリックします。
4. [Submit（送信）] をクリックします。

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Server をインストールします

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストール手順をまとめたものです。

手順1：Run AsクレデンシャルをセットアップしてPlug-in for Microsoft SQL Serverをインストールする

1. 左側のペインで、* Settings > Credentials > New * をクリックします。
2. クレデンシャルを入力します。

組み込みのドメイン管理者ユーザ名の形式には、*NetBIOS*<username>_ または <username>@<domain> または <DomainFQDN>\<username> を使用します。

組み込みのローカル管理者ユーザ名の形式には、<username> を使用します。

手順2：ホストを追加してPlug-in for Microsoft SQL Serverをインストールする

1. SnapCenter GUI の左ペインで、**Hosts > Managed Hosts > Add** の順にクリックします。
2. ウィザードのホストページで、次の手順を実行します。
 - a. Host Type：Windows ホストタイプを選択します。
 - b. ホスト名：SQL ホストを使用するか、専用の Windows ホストの FQDN を指定します。
 - c. credentials：作成したホストの有効なクレデンシャル名を選択するか、新しいクレデンシャルを作成します。
3. インストールするプラグインの選択セクションで、* Microsoft SQL Server * を選択します。

4. [その他のオプション]をクリックして、次の詳細を指定します。
 - a. Port : デフォルトのポート番号をそのまま使用するか、ポート番号を指定します。
 - b. インストールパス : デフォルトのパスは、_C : \Program Files\NetApp\SnapManager_ です。必要に応じて、パスをカスタマイズできます。
 - c. Add all hosts in the cluster : SQL in WSFC を使用している場合は、このチェックボックスを選択します。
 - d. インストール前チェックをスキップ : プラグインを手動でインストール済みの場合、またはプラグインのインストール要件をホストが満たしているかどうかを検証しない場合は、このチェックボックスを選択します。
5. [Submit (送信)] をクリックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。